



水素バリューチェーン推進協議会への参画について

2020年12月7日

MS & ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、水素分野におけるグローバルな連携や水素サプライチェーンの形成を推進する新たな団体「水素バリューチェーン推進協議会」(以下、本協議会)に参画しましたので、お知らせします。

1. 背景

昨今、多くの国々が水素社会実現に向けた取り組みを加速している中、日本においても CO₂ 削減に向けて水素の利用促進の可能性や課題が議論されてきました。水素需要拡大には様々な企業が連携し、安価な水素の供給と、水素利用の促進に取り組むことが期待されています。

今般、水素社会構築を加速させるべく、「①水素需要創出」「②スケールアップ・技術革新によるコスト低減」「③事業者に対する資金供給」といった課題解決を目指す横断的な団体「水素バリューチェーン推進協議会」が設立されました。

当社は、テレマティクス・モビリティサービス事業を展開しており、これからの新しいモビリティ社会に向けて様々な取り組みを行っています。その中で「脱炭素社会への貢献」を重要なキーワードのひとつと位置付けており、燃料電池自動車(以下、FCV)を含む先進環境対策車を対象とした自動車保険の割引制度を導入し、FCV 向けの保険・サービスの検討も進めています。こうした背景から当社は本協議会の目指す趣旨に賛同し参画しました。

2. 協議会の概要

目的	サプライチェーン全体を俯瞰し、業界横断的かつオープンな組織として、社会実装プロジェクトの実現を通じ、早期に水素社会を構築する
団体名	水素バリューチェーン推進協議会 (英語名: Japan Hydrogen Association 略称: JH2A)
代表者	トヨタ自動車(株)、(株)三井住友フィナンシャルグループ、岩谷産業(株) 3社の共同会長
設立形態	任意団体(将来の一般社団法人化を展望)
理事 (9社50音順)	岩谷産業(株)、ENEOS(株)、川崎重工業(株)、関西電力(株)、(株)神戸製鋼所、(株)東芝、トヨタ自動車(株)、(株)三井住友フィナンシャルグループ、三井物産(株)



3. 今後の展開

当社は、本協議会への参画を通じて、FCV 向けの保険・サービスの検討など水素社会を見据えた新たなビジネスモデルの構築に取り組み、「レジリエントでサステナブルな社会」実現への貢献を目指します。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs(持続可能な開発目標)を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。

